

第52期 株主通信

第2四半期のご報告

2020年4月1日—2020年9月30日



フォワーダーとしての英知と経験を結集し、
お客様に最適なソリューションを
提供していきます。

代表取締役
社長執行役員

鳥居伸年

当第2四半期の業績

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

3ヵ年の中期経営計画の2年目にあたる2021年3月期の第2四半期連結累計期間(以下、当第2四半期)の業績は、新型コロナウイルス感染症(以下COVID-19)の世界的な拡大による経済活動の停滞やサプライチェーンの混乱、輸送需要の減少等を背景に取扱物量が減少した一方、旅客便の減便など輸送スペースの逼迫に伴う運賃原価や販売価格の上昇等の影響もあり、営業収入は前年同期比2.9%減の2,637億18百万円、営業利益は130億8百万円(同48.5%増)、経常利益は134億24百万円(同104.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は81億58百万円(同266.6%増)となりました。

なお、当第2四半期の1株当たり配当金につきましては、本年8月6日に発表しました予想の通り10円とさせていただきます(前第2四半期と同額)。

また、2020年度の通期業績予想につきましては、本年11月11日に発表しました通り、営業収入は5,240億円(前期比3.8%減)、営業利益は240億円(同21.7%増)、経常利益は240億円(同37.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は140億円(同196.3%増)に上方修正いたしました。

新たな世界の先を見据えて

足元ではCOVID-19の感染が世界各地で再び拡大するなど先行きは依然として不透明であるものの、当社グループは、引き続き中期経営計画の各施策に着実に取り組むことで、持続的成長基盤の強化を図っていきます。また、日本発祥のグローバルブランドを目指し、よりレベルの高いフィールドで戦い抜く力と術を備えていくとともに、世界経済を支えるエッセンシャル・ビジネスとして物流企業の使命を果たしていきます。

これまでとは異なるビジネス環境においては、日々の情報収集と迅速かつ的確な判断を行い、お客様の輸送需要に応えるための輸送スペースの確保、グループのスケールメリットを活かした集中購買の遂行など、営業・オペレーションの現場スタッフが培ってきたフォワーダーとしての英知と経験を結集し、これからも、お客様のサプライチェーンを維持するためのソリューションを提供していきます。

今後も引き続きグループ一体となり、グローバル市場での競争力の強化、企業価値の向上に向けて邁進してまいります。株主・投資家の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当第2四半期のトピックス／各地域での事業およびサステナビリティの取組み

ベネルクス法人

ブリュッセル支店が医薬品物流の品質認証を取得

ヘルスケア産業の集積地に立地するKWEベネルクスは、医薬品物流の品質認証であるGDP (Good Distribution Practice) を2013年にアムステルダム支店で取得以来、医薬品物流を強化してきました。2020年7月、さらなる取扱物量の拡大に向けて、ブリュッセル支店においても同認証を取得しました。これを機に、従来の保冷物流サービスに加え、定温(15℃～25℃)での保管・庫内作業も可能とし、さらなるお客様ニーズに対応していきます。



ブリュッセル支店

セル支店においても同認証を取得しました。これを機に、従来の保冷物流サービスに加え、定温(15℃～25℃)での保管・庫内作業も可能とし、さらなるお客様ニーズに対応していきます。

中国法人

コロナ禍でもサプライチェーンを維持するためのソリューションを提供

KWE中国では、緊急輸送のニーズに際しては、トラックやフェリーでの輸送を駆使することで、医療関連品やPC・タブレットなど、コロナ禍で求められる輸送品目の取扱いに注力しています。今後予想されるサプライチェーンの変化や再構築にも、スピーディかつ柔軟に対応していきます。



出勤時の検温を徹底

サステナビリティの取組み

当社グループは、サステナビリティ活動の一環としてさまざまな取組みを行っています。今回は、フィリピン法人とタイ法人の活動をご紹介します。

○フィリピン法人

2020年1月、フィリピンのルソン島南部のタール火山が噴火し、10万人以上が避難を余儀なくされた大きな災害となりました。KWEフィリピンでは、従業員からの募金と会社からの拠出金でマットレスや毛布、水、食料、トイレタリー等を購入し、従業員の手で世帯毎の救援パックとしてまとめました。同時に寄付も呼びかけ、衣類など多くの生活物資が集まり、バタンガス営業所のメンバーが避難所を訪問し、救援パック60世帯分と衣類を寄贈しました。



被災住民への支援物資

○タイ法人

KWEタイは、社会貢献活動の一つとして、盲学校に古い卓上カレンダーを寄付しています。卓上カレンダーは紙の厚さが点字の練習に適しており、盲学校の生徒は、これを使って日々練習をしています。古いカレンダーという非常に身近なものを選定したこともあり、多くの従業員が参加できました。従業員がバンコクの盲学校を訪問し、生徒の方々と交流する予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため、KWEタイ社長と人事部担当者の2名で訪問し、カレンダーを寄贈しました。



寄贈された古カレンダー

インド法人

貨物取扱いのセキュリティ管理・コンプライアンス体制に関する認証を取得

KWEインドは、2020年8月、ワンストップサービスの拡充に向けた取組みの一環として、貨物のセキュリティ管理・コンプライアンス体制に関する認証であるAEO (Authorized Economic Operator) 認証を取得しました。これにより、円滑な貨物の引き取りが可能となり、お客様の利便性が向上することから、サービス品質とお客様満足度のさらなる向上、ビジネス拡大に向けた取組みに弾みをつけてまいります。



インド法人が取得したAEO認証書

シンガポール法人

オンライン会議やDXを成長機会として活かす

KWEシンガポールでは、コロナ禍におけるBCP(事業継続性)の観点から導入した在宅勤務やオンライン会議を、営業やオペレーションの効率化、チームビルディングの強化に活かす試みを続けています。世界各国の拠点と適時に情報交換することで、市況の把握や納期調整、問題点の解決、調達・購買部門との連携をスピーディに行っています。これにより従業員同士の連帯感がさらに深まるというメリットも生まれていることから、今後もこの取組みを継続していきます。



オンライン会議を継続

韓国法人

現地空港の発展に大きく寄与する優秀企業として選定、表彰される

KWE韓国は、2020年8月、仁川(Incheon)国際空港公社主催の「第4回ICN Awards」にて優秀物流企業として表彰されました。「ICN Awards」は、仁川空港の運営とサービスの向上に寄与した優秀企業の表彰を行うものです。KWE韓国は、取扱物量や国際業務能力、関連法令遵守度など各項目での評価の結果、同空港の物流ハブの発展に大きく寄与する優秀企業として選定、表彰されました。今後も、お客様や現地社会の発展に貢献していきます。

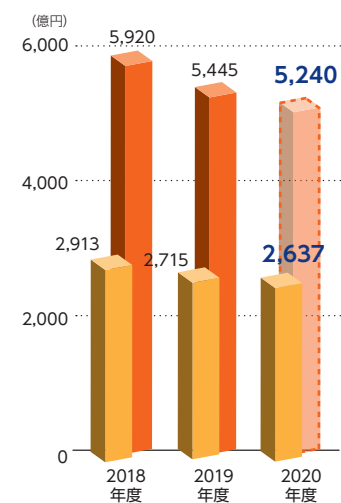


表彰式の様子

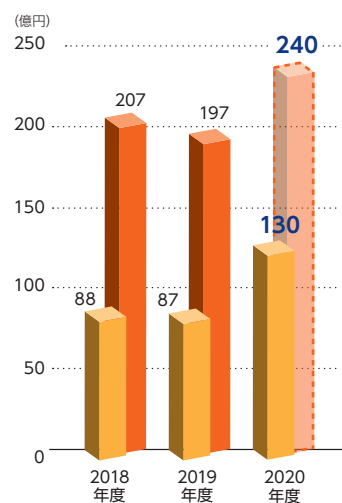
業績推移

営業収入

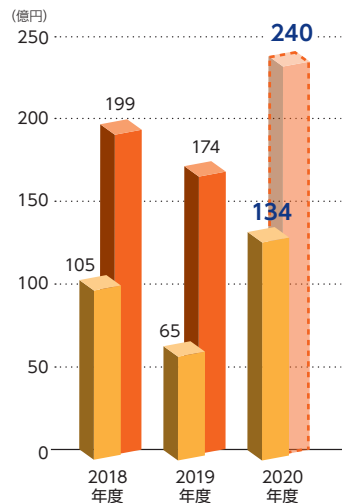
■ 第2四半期累計 ■ 通期 ■ 通期予想



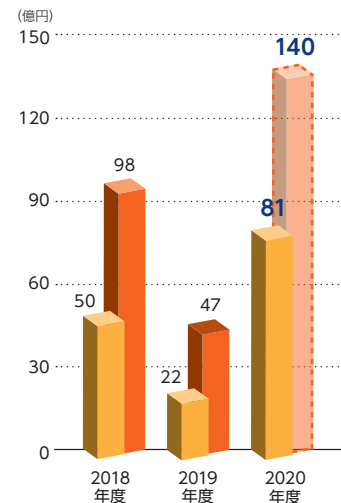
営業利益



経常利益

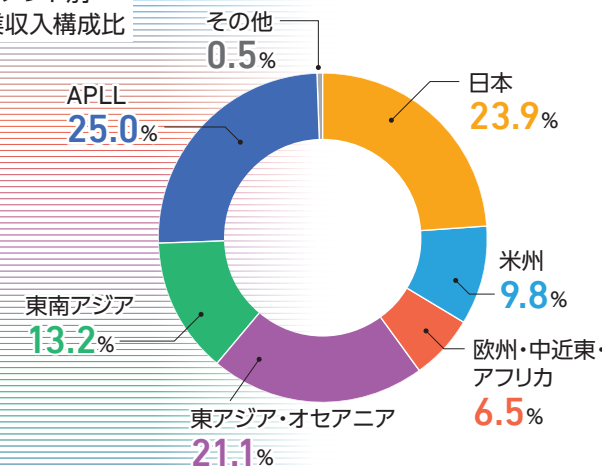


親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益

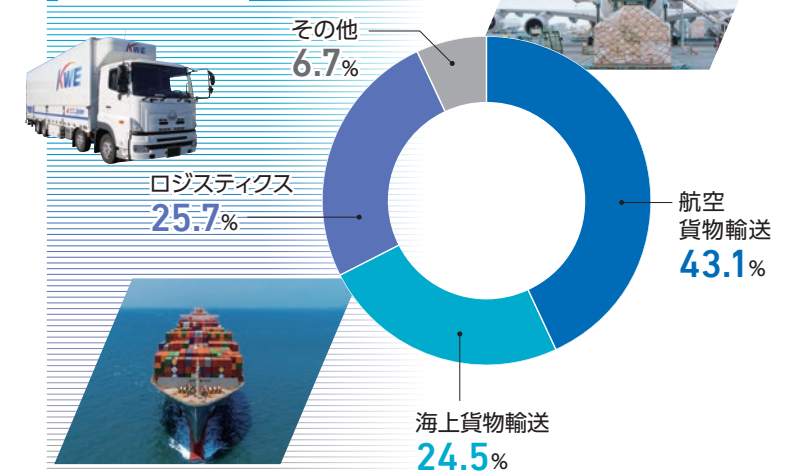


事業概要

セグメント別営業収入構成比



事業別営業収入構成比



株主優待情報

毎年2回、3月31日および9月30日現在の株主様に対し「当社オリジナル・クオカード」を以下の基準により贈呈いたします。

優待品	当社オリジナル・クオカード			
	1年未満		1年以上	
保有継続期間	1年未満		1年以上	
ご所有株式数に応じた優待内容	100株以上	500円相当	100株以上	2,000円相当
	500株以上	1,000円相当	500株以上	2,500円相当
	1,000株以上	2,000円相当	1,000株以上	3,500円相当
	5,000株以上	5,000円相当	5,000株以上	6,500円相当
基準日	年2回(3月31日、9月30日)			



(注) 保有継続期間1年以上とは、第2四半期末日および期末日の株主名簿に同一株主番号で連続3回以上記載されることといたします。

■会社概要 (2020年9月30日現在)

名称	株式会社近鉄エクスプレス Kintetsu World Express, Inc. (略称 KWE)
本社	東京都港区港南 2-15-1 品川インターシティ A 棟 24 階
資本金	72億16百万円
創業	1948年(昭和23年)
設立	1970年(昭和45年)
代表者	代表取締役 社長執行役員 鳥居 伸年
社員数	17,020名(連結) 1,293名(単体)
事業内容	1. 貨物利用運送事業(航空、海上、鉄道) 2. 一般貨物自動車運送業及び貨物自動車利用運送業 3. 航空運送代理店業 4. 通関業 5. 倉庫業(流通加工・作業サービス含む) 6. その他付帯事業

■株式数・株主数 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数	240,000,000株
発行済株式の総数	72,000,000株
株主数	18,220名
単元株式数	100株

■大株主 (2020年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
近鉄グループホールディングス株式会社	31,755,800	44.11
株式会社商船三井	3,599,000	5.00
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,517,800	4.89
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,983,300	4.14
北交大和タクシー株式会社	1,875,000	2.60
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,227,752	1.71
全国共済農業協同組合連合会	976,400	1.36
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HSD00	961,900	1.34
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	837,300	1.16
JUNIPER	778,600	1.08

(注) 持株比率は自己株式(2,367株)を控除して計算しております。

株主メモ

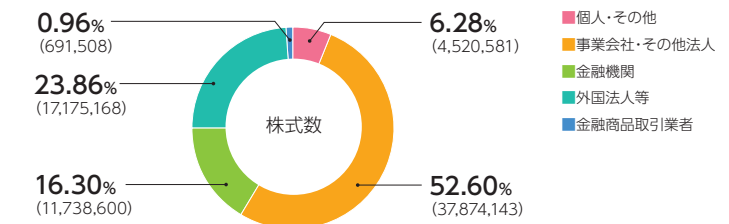
事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL.0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

■役員 (2020年9月30日現在)

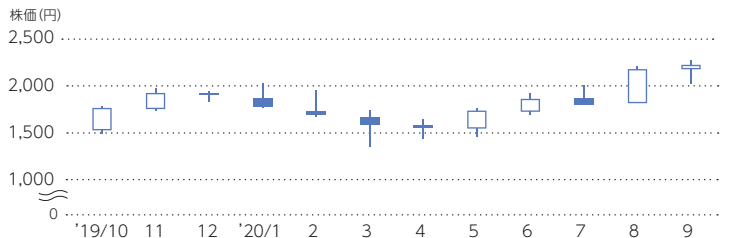
取締役会長	植田和保
代表取締役 社長執行役員	鳥居伸年
取締役 副社長執行役員	富山譲治
取締役 常務執行役員	平田圭右
取締役 上席執行役員	高橋克文・廣澤靖幸
取締役	小林哲也*1・田中早苗*1・柳井準*1
常勤監査役	坂井敬・渡邊克己
監査役(非常勤)	河崎雄亮*2・安本幸泰*2

*1は社外取締役、*2は社外監査役を表します。

■所有者別株式分布状況 (2020年9月30日現在)



■株価の推移 (2020年9月30日現在)



(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

上場証券取引所 東京証券取引所

証券コード 9375

公告の方法 電子公告により行います。

<https://www.kwe.co.jp/ir-contents/electronic-public-notice>

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。



株式会社 近鉄エクスプレス
〒108-6024 東京都港区港南 2-15-1
品川インターシティ A 棟 24 階

